

清央小だより



令和7年度 第40号
2026. 3. 24

HP> <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教
育
目
標

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

- ・自ら学び工夫する子ども (考える)
- ・元気でがんばる子ども (鍛える)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ 学校の様子はホームページにも掲載しています。その際は、画像を一部加工することがあります。ぜひご覧ください。

令和7年度の教育課程が修了しました

令和7年度の教育課程が修了し、晴れて全員が進級となりました。どの学年の児童も、この1年で、本当に身も心も大きく成長しています。

修了式では、各学年から代表1名の児童が、1年間を振り返って書いた作文を読み上げました。その内容を聞いていると、それぞれに成長した跡がみられ、充実した学校生活を送ってきたのだと、しみじみと感じてしまいます。代表の児童だけでなく、全員が1年を振り返り、新しい学年に進んでくれればよいと思います。

私からお話した内容は、次の通りです。

3月18日の卒業式で、6年生61名が卒業していきました。

6年生一人一人の、堂々とした素晴らしい姿を目に焼き付けられましたか？素晴らしい卒業式でしたね。

皆さんは「6年生を送る会」をはじめ、教室の廊下の掲示物作成など、いろいろな場面でお祝いの言葉や感謝の言葉をたくさん送りました。卒業した6年生たちも、温かい気持ちで卒業できたことでしょう。

そして、今日は皆さんが、今の学年が終わる「修了式」に参加しています。この「修了」は「完全に終わる」意味の「終了」ではなく、学業を「修める」、つまり、それぞれの学年で予定された学習の内容を「修めて」終える、ということです。

皆さんの通知票の最後のページには「修了証」というのがあり、学校代表のハンコが押されています。1年間頑張った証でもあります。これを5回もらうと、最後が6年間頑張った証である、卒業証書となります。ということは、5年生は最後の修了証ということです。

通知票には1年の最後ということで、担任の先生から見た皆さんが頑張ったことも書かれています。おうちの人と一緒に読んでください。ただ、通知票は書ける量が決まっていて、残念ながら、みんなの頑張ったことを全部は書けませんので、書いていないことで頑張ったことは、ぜひ、皆さんの口から、お家の人に話してみてください。

..... (中略)

また、4月の始業式の日、「挨拶しよう」「やさしくしよう」「勉強しよう」の三つを頑張りましょうと皆さんに伝えました。ずっと昇降口にも貼っておいたのですが、しっかりできましたか？この三つは、よく考えたら、この1年だけでなく、ずっと大切なことでもあります。続けて行ってほしいと思います。

さらに、「10年後へ向けた 新たな一歩を踏み出そう！」というスローガンも伝えました。150周年が終わり、次の10年後への最初の一歩となった今年度、これからも後も続いていく、力強く消えない足跡を、深く、はっきりと残せたでしょうか。

皆さんは、自分では気付いていないかもしれませんが、一人一人ちゃんと成長しています。4月からの新しい学年でも、その良さがもっと発揮できるようにしていきましょう。

最後に、1年間共に過ごした仲間やお世話になった先生方、そして育ててくれたお家の人にも「ありがとう」と感謝が伝えられるといいですね。



※令和8年度の始業式は4月8(水)となります。また、今年度の異動については、新年度になって改めてお知らせいたしますが、新聞発表は26日(日)朝刊の予定です。(下野新聞のデジタル版は1日前の夕方には掲載されていたと思います。)

(文責 校長)